

講師・ガイドに大活躍

加古川公民館高齢者大学自主活動「文化・歴史サークル」講座

- 2018年 7月 5日(木) 「上荘町散策」PP 濱本 光祈
- 2018年 9月 20日(木) 「淡山疎水と水路橋」PP 濱田 裕二
- 2018年 10月 18日(木) 「日岡山周辺現地ガイド」 松尾 威
- 2018年 11月 15日(水) 「上荘町散策現地ガイド」 濱本 光祈

- 2018年 10月 7日(日) 8日(祝) 「かこむ創造フェスタ」活動パネル展示・秋野菜販売
- 2018年 10月 27日(土) 28日(日) 「第3回日岡山パブリックアート展」ハイキング下見
- 2018年 11月 7日(水) 「踊っこまつり振興会」「トライアルウィーク」支援
- 2018年 12月 14日(金) いなみ野学園文化2組「歩こう会」日岡山周辺ガイド

加古川観光大使に新たに2名就任

- ・プロゴルファーのささきしょうこさん
 - ・歌手の菅原洋一さん
- 現在 15 名の大使が加古川を PR!



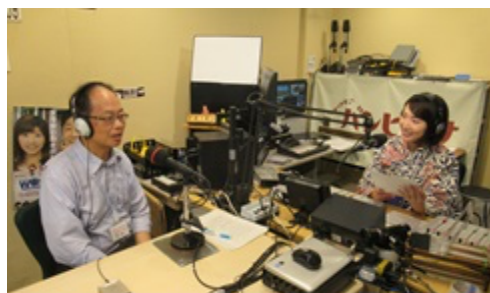
毎週火曜日 11:45 から 7 分程
MC 藤田貴子さんと
加古川についてトークしよう♪

出演者の声 「データで見る加古川市の姿」 1期生 芦谷 恒憲

事前に準備した資料から MC 藤田さんが選び、約 10 分間、インタビュー形式で進められました。今回、取り上げた内容は、人口 (26 万都市)、加古川(県下最長)、GDP (県 4% 経済)、かつめし (150 店舗以上)、靴下 (生産日本一) などで加古川市の特徴を説明しました。

番組終了後、知人から「加古川市の姿が GDP から靴下、かつめしまで統計で浮き彫りになって、おもしろかったです。」(県内女性)、「ラジオ、拝聴しました。加古川市内 GDP は、8,158 億円 (県内シェア約 4%) で、人口のシェア (同 4.8%) よりも小さいのは、神戸製鋼の存在を考えるとやや意外でした。勉強になりました!」(県外男性) と感想が寄せられました。

新しいテーマで、次回もチャレンジしたいと思います。



会員計報

没年 平成 30 年 12 月
会員年次 2012 年 (4 期生)
氏名 塩山 仁

会員一同ご冥福をお祈りいたします。

【編集後記】

先日、〇〇ピーのポテトチップス「加古川かつめし味」をいただきました。袋を開けると、かつめしの香りがして、食べるとこれが美味しい! あっという間に完食してしまいました。また、加古川のご当地鍋「恵幸川鍋」が、ニッポン全国鍋グランプリで、優秀賞 (第 4 位) と協賛社賞「ヨシケイ賞」をダブル受賞しました。そして、ヨシケイさんから商品化されることも決まったそうです。「平成」最後に良いことづくし。グルメでも加古川市は有名になりました。「令和」と年号も新たに、広報誌もカラーに。やっぱり写真がきれいです! (多田)



かこが話・和・輪

2019 年 (令和元年) 5 月 第 7 号
発行: 「かこがわ人の会」 広報部

かこがわ人の会 設立 10 周年 2018 年 5 月 13 日 (日)



総会后、松風ギャラリー館長・加古川市文化連盟副会長岩坂純一郎先生による記念講演会『歴史を学ぶ楽しさ』がありました。

踊っこまつりのボランティアに参加して

1 期生 濱田美恵子

踊っこまつりのボランティアにバス係として参加させてもらっています。おもてなしの心と笑顔があればできると言われ楽しく参加させて頂いています。踊っこさんたちから元気をもらい、弾ける一日です。なかよし組に、{かこがわ人の会} の栢尾さんが、出演していました。



鶴林寺親子文化財教室に参加して

10 期生 武田 晴秀

今まで、各方面にボランティアガイドをお願いして、地元の探訪を楽しんで参りましたが、今回鶴林寺でボランティアガイドに初挑戦しました。

7 月 22 日 (日) 午前 9 時から吉田住職の司会により、すっきゃ加古川の衣笠代表の挨拶でスタートです。4 つの班に分かれてガイドをしましたが、我が班は親子 4 組で総勢 10 名です。

予め参考書やインターネットでスピーチ原稿を作り、前々日に現地見学で訂正しました。インターネットでは鶴林寺の HP が一番分かり易かったです。上手く喋る自信が無かったのでスピーチ原稿を全員に配布しましたが、むしろそれが安心感となって、自信をもって喋ることができました。

これからも、いろんな場所でボランティアガイドを活用して楽しみたいのですが、私も出来る範囲でガイドに再挑戦できればと思います。

10月21日(日)今年で3年連続3回目の参加となった。案内ハガキの研修会「淡山疎水と水路橋」に興味があり参加した。濱田副会長の説明も非常に解りやすく、よく理解できた。

*淡山疎水は、畑作中心であった印南野大地において、米作への転換を目的に新たな農業用水が必要となり淡河川疎水、その後山田川疎水工事が着手され最終的に大正8年完成した。

*平木橋は山田川疎水事業の一環で農業用水の送水用に建設され大正4年に完成したが、貯水池である平木池が貯水池としての機能を十分に発揮することができず昭和24年頃には使われなくなった。

*橋は東播磨南北道の建設予定地内にあったが、調査の結果近代土木遺産として歴史的価値が高く貴重な文化財として保存の声が高まり1km西の「前の池」へ移築保存されることとなった。

*2010年1月土木学会推奨土木遺産に選定され、同年3月加古川市指定文化財に指定された。

そのほか、淡山疎水完成による米作範囲の拡大、解体移築工事概要、破損レンガの代用にニッケ(株)加古川工場の外壁に使用されていたレンガの再利用、背割分土工と円筒分土工の差異、琵琶湖水路橋、熊本の通潤橋、ヨーロッパの水路橋と逸話等々興味のある内容であった。

研修後の弁当もよかった、マツタケと栗が入っていた、すばらしい演出である。

観月会も3回目となるが、「十三夜に曇りなし」の言葉通り見事な月であった。

開闢法要、増位山虚無僧保存会の奉納演奏、「ひとつ山をこえてみよう会」のライブと続き、秋の夜長を満喫した。

72歳のおっさん(お爺さん?)には夜の外気は肌寒く今年も途中退場となった。



JR 近郊区間大回り乗車の旅

平成31年1月27日(日) 運賃 190円

JR加古川駅「JR加古川線・普通(谷川行き)」12:42 発

JR谷川駅「福知山線・普通」14:48 発

JR篠山口駅 15:12 発

JR尼崎駅「JR神戸線快速(姫路行き)」16:28 発

JR東加古川駅 17:33 着下車



雪が心配な天気予報も何のその、かこがわ人パワーで吹き飛ばし、21人も参加を得て出発しました。谷川駅での待ち時間では、ジャンケンゲームで盛り上がりました。

190円で本当に行けるの?と不安の声もありましたが、前に2回行っているし大丈夫とい

いながら福知山線の車窓から見る山並みを楽しんでいました。丹波大山駅の手前で検札があった時にはさすがにドキッとしました(過去2回はなかった)。大回りの旅と告げ、検札を受けて一安心。仕事をしているので「かこがわ人の会」のイベントに参加するのは初めてという方々ともお話しでき有意義な1日でした。もっと現役の方も参加できるイベントがあればいいのかなと思いました。

竹中大工道具館を見学して

10期生 袋瀬 豊

1月27日、JR加古川駅午前10時集合、「かこがわ人の会」8名は厳しい寒さの中、地下鉄新神戸駅から徒歩3分の場所にある日本で唯一の大工道具の博物館

「竹中大工道具館」に見学に行きました。約1000点の選りすぐりの大工道具が、歴史や種類、和の伝統美といった7つのコーナーに分けて展示されており、映像を見て、音声ガイドを聞いて、木の香りを

嗅ぎ、触れて・・・と、五感に響く構成でした。

イベントや体験教室も定期で開催しているそうで伝統的な匠の技を感じる博物館でした。最後に「かこがわ人の会」の人たちと、短い時間でしたが交流でき、参加してよかったなと感じました。

第2回例会 うまいもんを食する会

「鹿児島川荘」

2019年2月27日(水)

恵幸川鍋

3期生 有川優一郎

参加者はかこがわ人の会28名、ゲスト8名、鍋奉行の「エコがわさん」3名の総勢39名。

記村会長の挨拶のあと、BANBAN ラジオ・ウキウキバンビーナ MC 藤田さんの乾杯の音頭で和やかにスタート。環境省が呼びかける“3010運動”のルールに従って、環境にやさしく「もったいない」の気持ちで、楽しく美味しく鍋料理をいただきました。高松清太夫老舗の味噌、岡田酒造の酒粕、地元の旬の野菜を使う恵幸川鍋は、1月26日・27日に開催されました「ニッポン全国鍋グランプリ2019 in 姫路」で優秀賞(総合第4位)と協賛社賞を受賞しましたので、その祝賀会も兼ねることができ、とてもおめでたい例会となりました。

お楽しみビンゴゲームでは、地元の特産品や吉田住職の色紙など豪華景品の争奪で大変盛り上がり、休業日にもかかわらず特別に作っていただいたフレッシュピクルの「牛・ギュッとパン」の参加賞が用意されていて、メンバーの親睦を深められただけでなく、おなかもちもいっぱいの例会でした。

ホルモン鍋

7期生 濱田雅司

今回の料理はホルモン鍋と恵幸川鍋。開催場所は加古川職員会館とくれば、二つ返事でホルモン鍋でしょう!!

市役所職員伝統の神伝の味付け、調理法があると以前から聞いていた。恵幸川鍋も最近

は力をいれてPRしているようです。まず、ホルモンを熱した鍋に入れ、ほどよく焼けた時点で出汁・野菜を入れて沸騰すれば完成です。

思わず美味しそう

と生唾ゴクリ。

しかし如何せん、

古希に近づく我

が身の齢を忘れ

ていた。食が進むにつれてホルモンの脂身がむつごく感じられた。「若い頃は好んで脂身を食したもんだがなあ〜」

最後は恵幸川鍋も少し食してさっぱりした気持ちでパーティーのお開きです。

ああ美味しかった。

2019 かこがわ検定

上級認定証授与式

とき 平成31年3月23日

ところ 加古川総合庁舎1階「かこむ」

講師担当

2期生 山下佳房さん

4期生 柳本いずみさん

6期生 多田恭子さん

3名が挑戦!

2019かこがわ検定合格者

	受検者	合格者	合格率
初級	32名/37名	26名	81%
中級	21名/23名	18名	86%
上級	17名/19名	15名	88%

「かこがわ検定」対策万全? 9日、試験「合格塾」に60人

加古川市のご当地産品「化センター」であった。出題の傾向と対策などが解説され、参加した約60人の市民からは、最後の追い込みに熱心にメモを取って勉強していた。9日に検定試験が同センターで行われる。同検定は、各地のご当地産品が盛り上がった2007年に始まった。初・中級は各問の答えを四つの選択肢から選び、上級は選択式で50問出題され、7割の正解で合格し、「かこがわ人の認定証」が贈られる。合格者は、上級合格者で50名、中級合格者で70名、初級合格者で100名と見込まれている。受検申し込みは8日まで。参加費は2000円(学生半額)。問い合わせは、加古川観光協会(079・424・2770)。

3月3日 読売新聞に記載